

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 4年 12月28日

事業所名：児童発達支援・放課後等デイサービスSORATO (UMIE)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分な広さの教室に加えて、遊び場所としてのプレイルームも用意し、事業所2つ以上の活動スペースが確保できています。	はい 18 いいえ	どちらともいえない わからない	改善点、改修が必要な箇所はありません。
	2 職員の適切な配置	法が定める児童10名に対して職員2名という基準以上の職員配置で、管理者を除き、正規職員3名、非正規職員3名(週に3~4日勤務)が配置されております。	はい 17 いいえ	どちらともいえない 1 わからない	現状では、職員の増員は計画しておりません。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	高齢者向け診療所を改装し、車いすが利用できる手すり付きのトイレ等、バリアフリーに対応できています。また個別学習用に、十分な学習机が用意され、個別療育室も確保しています。	はい 18 いいえ	どちらともいえない わからない	現状で対応できていると考えており、改修などの予定はありません。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	経年に伴う修理箇所(雨漏り、トイレの水回り関係等)については、その都度対応し、学習と遊びが快適に行えるように努めております。	はい 18 いいえ	どちらともいえない わからない	教室は学びの場所、プレイルームは遊ぶ場所と、役割による使い分けを継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。	/		引き続き、ムダ・ムリ・ムラの軽減に取り組み、業務の効率化に努めたいと思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は、まだ取り入れておりません。	/		現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	朝会時に、職員が持ち回りで選んだ発達障害に関わる記事を紹介したり、毎月事業所内での研修に努めています。	/		現在の取り組みを継続していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援というニーズを念頭に置き作成に取り組みました。	/		新店舗開業の際に、より効果的な学習支援に取り組めるように、K-ABCⅡを導入する予定があります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	「できる」体験を増やすことで、学びの楽しさが見つけられること、自己肯定感を育むことを前提にして作成しています。	はい 16 いいえ	どちらともいえない 2 わからない	集団療育の内容がマンネリにならないように、研修や書籍から、さらなるアイデアを得ていきたいと考えています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学習支援と、他児との交流を中心に作成しています。	/		数概念の育み、ワーキングメモリー、ビジョントレーニングといった観点からも、児童毎の必要項目を設定できるようにしたいと考えます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施しています。	はい 16 いいえ 1	どちらともいえない 1 わからない 1	現在の取り組みを継続していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	基本となる学習支援プログラム以外の集団療育については、週替わりで担当職員を変え、各自のアイデアで趣向を凝らした活動に取り組んでいます。			現在の取り組みを継続していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇中には、ゲーム等を使って、児童同士の交流を促進するなど、平日には時間的制約から実施できない活動で、社会性の向上を目指しています。今夏より外出行事も始めました。	はい 17 いいえ 1	どちらともいえない 1 わからない	コミュニケーション力の向上や、他者視点の育みが期待できる協力ゲームの拡充などを図っていきたい。 外出行事も継続して実施したいと思います。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	メインとなる支援は、オンライン教材のすらすらと、認知機能の発達を促す3種類のソフトを使ったトレーニングですが、集団療育については週替わりで内容を変え、活動内容に工夫を凝らしています。			各児童の興味を育てたり、強みの発見につながるような工夫を凝らしていきたいと思います。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングで実施しています。			現在の取り組みを継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	自宅送迎後の帰着時間がまちまちなので、帰着順に、管理者へ情報の共有を実施、必要に応じて、翌朝のミーティングで取り上げています。			現在の取り組みを継続していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を使い、毎日、必要な入力項目への記録に努めています。			現在の取り組みを継続していきます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとに行っています。			現在の取り組みを継続していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所の都合に合わせて、UMIEの教室を会場として提供したり、電話による情報共有に努めました。	コロナ禍の状況により、今後、対面での会議が再開されるようになれば、参加していきたいと思えます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	過去1年で該当者はいませんでした。	該当者がいれば、対応できるようにしていきたいと思えます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	特に連携を必要とする事例はありませんでした。 専門機関による研修への参加は、送迎職員確保上の理由で実施できていません。		送迎職員の確保が最優先されるため、対面での受講は困難であり、オンライン受講の機会があれば受講を検討したいと思えます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では、事業所外での対外的な交流はございません。	はい 2 どちらともいえない 1 いいえ 9 わからない 6	コロナ禍が継続する中、現在はこうした機会提供の実現は困難と考えて、現状通りとします。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	周囲を工場や店舗に囲まれ、近隣には一般家庭が無いので、地域住民の招待を想定した企画を実施していません。		現状を考えると、地域住民の招待を想定した企画の実現は難しいと思われるので、現状通りとします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約に際しては、重要事項説明書をもとに、1時間近くを用いて十分な説明を行っています。	はい 17 いいえ 1 どちらともいえない わからない	現在の取り組みを継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施しています。	はい 15 いいえ 1 どちらともいえない 2 わからない	現在の取り組みを継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	管理者はペアレントトレーニングの入門研修の受講に加えて、書籍による学習を続けており、必要に応じて、助言を行える体制を取っております。	はい 12 いいえ 2 どちらともいえない わからない 4	応用行動分析、ペアレントトレーニングについての研修を受講し、保護者からの要望に適切に対応できるようにしていきたいと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」の連絡ノート機能を用いた情報交換と、送迎時には対面での説明を行っています。	はい 18 いいえ どちらともいえない わからない	現在の取り組みを継続していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時における対面時など、保護者からの要望に対応できる体制はできています。	はい 5 いいえ 10 どちらともいえない 2 わからない 1	現在の取り組みを継続していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現時点では、保護者会は開催しておりません。	はい 2 いいえ 11 どちらともいえない 1 わからない 2	保護者のニーズが多い様であれば、開催を検討したいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっております。 ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに応える様に努めております。	はい 13 いいえ どちらともいえない 2 わからない 2	現在の取り組みを継続していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	スマホを用いた連絡ノートでのやり取りを始め、メール、電話など、保護者にとって利便性の高い方法で情報共有できるようにしております	はい 16 いいえ どちらともいえない わからない	自閉的傾向を有する児童に対するPECS(絵カード交換式コミュニケーション・システム)等の導入可能性は検討したいと思います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現時点では、会報等の発行は行っていません。 学習支援に専念する関係上、特別な行事は実施していません。	はい 5 いいえ 6 どちらともいえない 2 わからない 3	現在インスタグラムで、プライバシーに配慮した形での情報発信を行っています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報、契約時に説明した通りに取り扱っております。	はい 14 いいえ 1 どちらともいえない 2 わからない	現在の取り組みを継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル類の整備については、従来より法人で準備された物があり、契約時にその旨説明を行っています。	はい 15 いいえ 1 どちらともいえない 1 わからない 1	現在の取り組みを継続していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	運営法人が異なる敷地内の他事業所も含め、消防署員立ち合いの下で実施しました。	はい 14 いいえ どちらともいえない 3 わからない	現在の取り組みを継続していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングで実施しています。		現在の取り組みを継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体的拘束の必要性に迫られる場面はなく、そうした対応が必要な利用児童はいません。個別療育室や廊下での声掛けを中心としたマンツーマン対応を行っています。		現在の取り組みを継続していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、各種アレルギーの有無を確認させて頂いております。		現在の取り組みを継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットについては、障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」内に、電子的に記録しています。		現在の取り組みを継続していきます。